

2010年(平成22年) 7月18日発行

発行/名張市企画財政部広報対話室 〒518-0492 名張市鴻之台1-1
☎0595-63-7402 ☎64-2560 ✉info@city.nabari.mie.jp
🌐http://www.city.nabari.lg.jp
携帯版 http://www.city.nabari.lg.jp/m_index.htm
バーコード読み取り対応の携帯電話端末から携帯版へ → 

▶ 主な内容 P1-2…平成22年度施政方針・予算 P3-6…市議会だより P7…暮らしの情報 P4…施設見学会参加者募集

主要施策の展開

総合計画の5つの柱に沿って、平成22年度の主要施策をご紹介します

1. 互いに認めあい支えあう、健康で安心できる暮らし

- ◆ 人権課題の解決や男女共同参画社会の実現に向けた取組みを推進
- ◆ 地域づくり組織を支援し、地域主体のまちづくりを推進
- ◆ 「地域あんしんねっと」と「地域ささえあい事業」を展開。支援が必要な人を地域で支えられるネットワークの形成を目指し、地域福祉を推進
- ◆ 住民相互の協力と支えあいによる健康づくり活動を支援
- ◆ 安心できる2次救急医療体制の構築に向けた取組みを推進
- ◆ 市立病院での、小児2次救急機能の充実、療育センターの医療面でのサポートなどを柱とする小児医療センターの整備を推進
- ◆ 特別養護老人ホームや介護付有料老人ホーム、認知症グループホーム、小規模多機能施設などの整備を進め、高齢者福祉を推進
- ◆ 障害者の就労支援を拡充。療育センターの設置に向け推進体制を整備
- ◆ 保育所民営化を推進。さらに、官民協働での幼保一元化の取組みを推進
- ◆ 農業分野における障害者雇用の促進 ◆ 先端産業の立地を推進

2. 美しい自然に包まれた、憩いと潤いのある暮らし

- ◆ 地球温暖化防止対策の推進 ◆ 生ごみの分別、資源化を推進
- ◆ 関係地域などと連携し、田園・歴史・文化ミュージアム構想の具体化に取り組む、農村ふれあい交流空間の整備を推進

3. 人が行き交い活力あふれる、安全で快適な暮らし

- ◆ 土地利用に関する制度や総合的な交通体系の早期構築を推進
- ◆ 消防広域化を推進。また、FMなばりや電子メールを活用した災害時の情報提供システムの構築を進め、地域と連携し、災害時要援護者対策を推進
- ◆ 中央浄化センター第2系水処理施設の増設工事を推進
- ◆ 赤目南部地区の農業集落排水事業を推進。比奈知地区の事業採択に向け準備。また、長瀬、上長瀬地区の市町村整備型戸別浄化槽に係る事業を推進
- ◆ 「名張市水道ビジョン」に基づき、計画的に基幹施設の整備を推進
- ◆ 民間の賃貸住宅を借り上げる方式で、市営住宅の整備を推進
- ◆ 地域の自主的な取組みによるコミュニティバス運行を支援
- ◆ 国道368号の4車線化と、長瀬地内の拡幅改良事業を促進

4. 心豊かな教育と文化に包まれた、ゆとりある暮らし

- ◆ 「名張市子ども教育ビジョン」を策定し、新たな教育課題解決に推進
- ◆ 名張小学校、名張中学校の校舎の耐震補強工事を実施
- ◆ 小中学校の規模、配置の適正化について、平成21年度に策定した基本方針に基づき、実施計画を作成。適正化に向け事務事業を推進
- ◆ 近大高専が地域に根ざすよう、地域や産業界との連携づくりを推進

5. 新しい時代を拓く自立と協働による地域経営

- ◆ 「新しい公」を推進するための参画・協働の仕組みづくりを推進
- ◆ 未利用公共用地の利活用を推進 ◆ 窓口業務の効率化を推進
- ◆ 6月に設置の「債権管理室」で、税財源などの確保に向けた取組みを推進
- ◆ 「名張市財政早期健全化計画」に基づき、財政健全化を推進

達成から躍進へ

施政方針

5つの躍進宣言

総合計画「理想郷プラン」後期基本計画がスタートした平成22年度。4月が市長の改選期であったため、6月の定例市議会で平成22年度の施政方針を亀井市長が述べました。今号ではその要旨をご紹介します(市ホームページに全文を掲載)。

☎ 総合企画政策室 ☎ 63・7389

亀井市政3期目の取組み方針

1. 安心・安全のまちづくり

安心できる医療体制の整備、高齢者・障害者福祉および地域福祉の推進、さらには、安心できる暮らしの創造を図ります。

2. 元気・活力あるまちづくり

雇用の創出、住民主体のまちづくり、名張ブランドづくりの推進並びに産業と教育の連携による元気で活力あふれるまちづくりを目指します。

3. 未来につなぐまちづくり

少人数教育の推進や教育環境の充実、子育て・子ども支援の充実に取り組む、未来につなぐことのできるまちづくりを推進します。

4. 環境共生の魅力あるまちづくり

資源循環型社会の構築のほか、魅力ある市街地の形成、コミュニティ交通の充実や下水道事業の計画的な推進による環境共生の魅力あるまちづくりを目指します。

5. 躍進のシステムづくり

財政健全化の実現、市民主権や情報共有の推進、質の高いサービスの向上を図るなど躍進のシステムづくりを推進します。

2ページに平成22年度予算を掲載しています

平成22年度

予算

1ページの「施政方針」を裏付けるものが予算です。平成22年度は、4月が市長の改選期であったため、当初予算は、人件費や公債費などの義務的経費や継続事業を柱とした「骨格予算」としていました。今回の一般会計の6月補正予算では、「肉付け予算」として政策的経費や新規経費で、11億1,970万円を増額し、予算総額は、前年度6月補正後予算と比較して、6%増の244億6,270万円となっています。

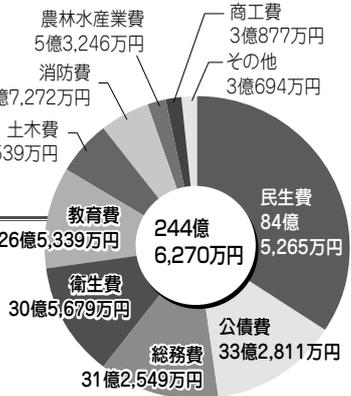
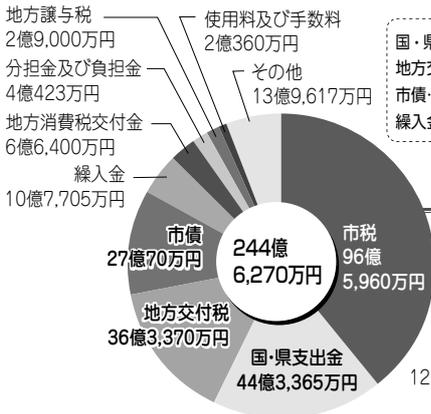
財政経営室 63・7403

◎金額は、万円未満を四捨五入しているため、合計が合わない場合があります。

主な用語解説
 国・県支出金…使い道が限定された国や県からの補助金など
 地方交付税…使い道を限定されない国からの配分金
 市債…市の借金
 繰入金…基金(市の貯金)の取り崩しなど

一般会計歳入

平成22年度6月補正後



一般会計歳出

平成22年度6月補正後

主な用語解説
 民生費…高齢者・児童・障害者福祉などに支出
 公債費…市債返済のために支出
 総務費…人件費や地域振興など多岐にわたって支出
 衛生費…ごみ処理や保健事業などに支出

6月補正予算の主な内容

皇學館大学跡地の有効活用に 1億8,000万円



皇學館大学撤退に伴う跡地有効活用事業として、学校法人近畿大学との合意書に基づく工業高等専門学校に移転支援のため、国の交付金を活用し、施設の整備を補助します(市の一般財源からは9,000万円を支出)。

救急車受入の開業医療機関に補助するために 300万円



救急車による搬送でも患者が軽症の場合は応急診療所や開業医療機関などへの搬送となりますが、こうした市内での軽症患者の受入体制を確保していくため、救急車で搬送された患者を受け入れた開業医療機関に1回5,000円~1万円を補助します。

民間老人介護施設の整備に 2億7,125万円



介護保険事業計画に基づき、国交付金と県補助金により、民間老人介護施設の整備を補助します。
 【施設内訳】▼認知症対応型共同生活介護施設(グループホーム)3カ所 ▼小規模多機能型居宅介護施設(訪問介護などを実施)6カ所 ▼認知症対応型通所介護施設3カ所 ▼夜間対応型訪問介護施設1カ所

生ごみの資源化に向けて(試行) 212万4千円



「ごみゼロ社会を目指すアクションプログラム」に基づく生ごみの資源化に向け、市内の複数箇所約1,000世帯を対象に、生ごみの分別回収のモデル事業を実施します(10月から3カ月間)。写真は、モデル世帯に無料配布する予定の水切りバケツ

公園遊具の整備に 3,200万円



国の交付金を活用し、桔梗が丘9号公園(写真)や豊後町公園、東山公園など市内7公園の遊具を新しいものに入れ替えます。

バイオスタウン構想を推進するために 551万4千円

バイオスタウン構想推進のために、推進委員会の運営や、生ごみ堆肥化実験を市内業者に委託するなどします。

コンビニでの市税収納を始めるために 635万円

納税者の皆さんの利便性を高めるため、コンビニで市税を納付できるようにするためにシステムを改修します。コンビニでの市税収納は、平成23年度から実施予定です。
 ※国民健康保険特別会計においても、市税と合わせ、コンビニでの保険税の収納に係るシステム改修経費を計上しています。

平成22年度特別会計と企業会計の6月補正後予算額

▼特別会計総額 157億163万円(住宅新築資金等貸付事業会計 2,880万円 東山墓園造成事業会計 8,370万円 農業集落排水事業会計 7億4,880万円 公共下水道事業会計 20億4,170万円 国民健康保険会計 70億8,683万円 老人保健会計 250万円 介護保険会計 46億1,200万円 後期高齢者医療会計 10億9,730万円)
 ▼企業会計総額 76億5,713万円(水道事業会計 25億2,379万円 病院事業会計 51億3,335万円) ※収益的および資本的支出の合計額

皇學館大学名張学舎原状回復費用受入 2億3,148万8千円

皇學館大学撤退に係る覚書に基づき、平成22年度に支払われる原状回復費用受入金を歳入予算に計上し、財政調整基金へ積み立てます。